

1 柴田町の状況《国際化》

● 柴田町立学校に在籍する外国人児童生徒数の推移

R2		R3		R4		R5		R6		R7	
小	1人	小	1人	小	2人	小	2人	小	2人	小	5人
中		中		中		中	1人	中	1人	中	2人

※ 韓国(1人)・中国(1人)・インド(2人)・パキスタン(2人)
インドネシア人(1人)

※ R4以降は、日本語が全く分からない児童生徒が在籍
《多国籍化・多言語化》

● 柴田町立学校への体験入学者数の推移

R2		R3		R4		R5		R6		R7	
小		小		小		小	1人	小	1人	小	3人
中		中		中		中		中	1人	中	1人

※ アメリカ・ドイツ・タイ在住 《増加傾向》

2 事業の成果《国際理解教育の推進》

◎ 外国人児童生徒等への教育支援の充実を図ることができた。

日本語能力に応じて

- ・特別の教育課程による指導(別室)…「取り出し」指導の充実
- ・通常の教育課程による指導(教室)…「入り込み」指導・支援の充実
- 外国人児童生徒等の支援・指導に関わる担当教員等の資質向上
- ・個別の指導計画の作成、指導・支援方法に関する情報共有

☆ SAKURA PROJECTについて〔外国人への情報発信〕

- ・国際理解教育の推進
柴田町の魅力(桜)について英語で情報発信できる児童生徒の育成を目指す取り組み
柴田町桜まつりでの外国人のおもてなし活動(JOV活動)

3 事業の具体

柴田町教育委員会・学校
・特別の教育課程の編成 ・在籍学級での学習指導 ・別室での日本語指導 ・児童生徒の心のケア ・保護者との連絡、面談等 ・日本語指導担当教員の指導面／メンタル面でのサポート ・児童生徒との交流 など

派遣依頼

派遣

情報共有

宮城県国際化協会(MIA)

- ・学校へのアドバイザー派遣
- ・児童生徒へのサポーター派遣
- ・(オンライン学習支援)未実施
- ・保護者とのやり取り支援〔通訳〕

宮城県教育委員会

外国人児童生徒等の支援に関する研修会
外国人児童生徒受入拡大対応事業連絡会

4 実践事業

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
アドバイザー・サポーター、(オンライン学習支援)の活用												
○個別の指導計画作成	・アドバイザー・サポーター活用開始	○支援事業推進運営協議会	・外国人児童生徒等の支援に関する研修会参加	・外国人児童生徒等の支援に関する研修会参加	○支援事業推進連絡協議会	◎年間を通して職員会議等で情報共有 ◎年間を通して担当教員の資質向上 ◎年間を通して友達交流			・反省／成果と課題	・JOV活動参加		